

【様式】長崎県内の具体的取組紹介

【関係市町】

漂着ごみアート（対馬市）



アドレス <https://www.nagasaki-np.co.jp/kijis/?kijiid=1116909779045171874>

【取組の概要】

漂着ごみの量が全国最多とされる長崎県対馬市。対策の一環として、対馬市は流れ着いたごみでアート作品を制作し販売するプロジェクトを進めています。島外のアーティストが作品を作り、収益の一部をごみの回収費に充てる仕組みで、対馬島内での「循環型経済」の確立を目指しています。

【取組の実際】

対馬市によると、対馬沿岸にはプラスチックごみなどが年間推計で約3万～4万立方メートル漂着しているそうです。全国の市町村で最も多いとされ、生態系や産業などへの悪影響が懸念されています。

そこで、福岡県出身のアーティスト「しばたみなみ」さんに「漂着ごみアート制作」を依頼しました。しばたさんは、漂着ごみや廃材を使った作品制作の経験が豊富で、2021年には環境省や日本財団が優れた海洋ごみ削減の取り組みを選ぶ「海ごみゼロアワード」で環境大臣賞を受賞されました。2024年の1月から対馬市上県町で約1か月間かけて、立体構造物複数個を制作されます。3月から販売を始め、売り上げの一部は、市のごみの回収費に充てられます。

他のアーティストも募集し、持続的に制作、販売できる仕組みづくりを目指します。



漂着ごみ



漂着ごみ回収



豊玉中生徒の作品

【メッセージ】

単純にアートを楽しむだけでなく、購入と同時に社会問題解決につながるメリットがあります。素材は対馬に大量にあります。一過性で終わるものではなく、島全体で漂着ごみアートを販売できるような基盤づくりを目指したいです。

自分にできる「漂着ごみアート」にチャレンジしてみませんか？